

平成 25 年 5 月 17 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 459 回 構造懇話会 平成 25 年度 幹事会および例会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 25 年度 幹事会および例会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

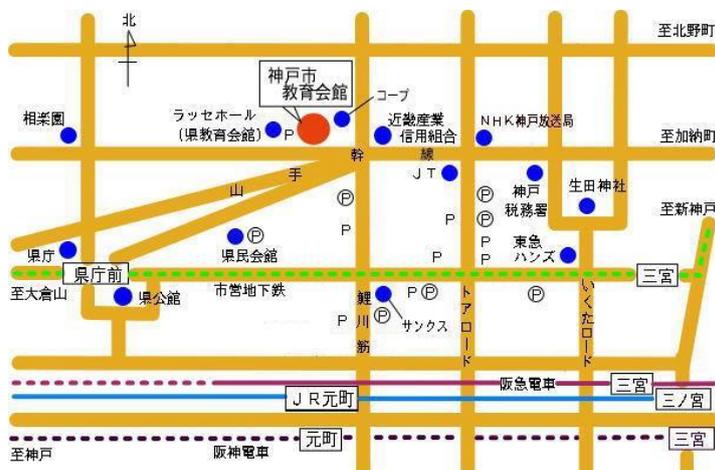
記

1. 日 時 平成 25 年 6 月 18 日 (火) 13:30～16:30
2. 場 所 **神戸市教育会館 501号室**
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111
3. 議 題
 - 1) 運営委員会 13:30～14:25
休憩 14:25～14:30
 - 2) 例会 ①部 14:30～15:25
『初期張力に着目した設計・施工事例の紹介 ～建築におけるテンション構造～』
神鋼鋼線工業株式会社 尼崎事業所 エンジニアリング技術室 第3グループ
グループ長 鈴木 実 氏
休憩 15:25～15:35
 - 3) 例会 ②部 15:35～16:30
『東日本大震災における津波被害と神社の祭神』
神戸市立工業高等専門学校 都市工学科 助教 高田 知紀 氏

[連絡先] 〒530-0012 大阪市北区芝田 1-4-8 北阪急ビル 4 階
阪急設計コンサルタント株式会社 榎田周平

TEL : 06-6359-2755 / FAX : 06-6359-2762 / e-mail : kushida-s231@sekkei.hankyu.co.jp

[案内図]



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 459 回 構造懇話会 例会での報告概要

1. 『初期張力に着目した設計・施工事例の紹介 ～建築におけるテンション構造～』

①報告者

神鋼鋼線工業株式会社 尼崎事業所 エンジニアリング技術室 第3グループ
グループ長 鈴木 実 氏

②報告内容

近年、建築におけるテンション構造は、スタジアムやアリーナなどの大規模建築だけでなく、小規模な体育館や高層ビルのガラスファサードなど、数多く適用・実施されている。テンション構造は、軽量で力学的合理性に優れた架構を形成できるため、大空間や透明性を求められる空間に適した構造であることが要因であろう。ストリングを用いたテンション構造の構造計画時には、ストリングの役割、この役割に応じた初期張力の設定などが重要な課題である。またストリングに対する初期張力の導入方法の選択は、構造計画や施工計画を左右する大きな要因でもある。本報告では、ストリングの初期張力に着目し、その張力レベルに着目した分類および張力導入方法の種類について示す。またこれらについての具体例として、最近の実施例を紹介する。

2. 『東日本大震災における津波被害と神社の祭神』

①報告者

神戸市立工業高等専門学校 都市工学科 助教 高田 知紀 氏

②報告内容

東日本大震災とそれに伴う巨大津波は甚大な被害をもたらした。一方で、沿岸部を歩いていて気が付くのは、多くの神社が津波被害を免れていることである。そのなかでも興味深いのは、神社に祀られる祭神によって、津波被害の重度が明確に異なっていたことである。特に、ヤマタノオロチ退治で知られるスサノオノミコトを祀った神社、さらに熊野系神社と八幡系神社は、そのほとんどが津波の被害を免れていた。そこで、日本の神社に祀られる祭神の多様性は、人びとの関心に応じた差異化の結果であると考えられる。この結果は、地域の歴史や文化をふまえたリスク・マネジメントのあり方について重要な知見を提供する。